かながわＣ☺－ネット通信　Ｎｏ．１０５

神奈川県協同組合連絡協議会
かながわＣｏ－ネット会員組織　御中

２０２３年７月１１日

神奈川中央養鶏農協がCo－ネットに加入されました～会員数85組織に～

神奈川中央養鶏農業協同組合から６月 19 日付でＣｏ－ネットへの加入申込があり、同 22 日の事務局統括役員会議で承認させていただきました。同組合の加入により、Ｃｏ－ネットの会員数は 85 となりました。

神奈川中央養鶏農協は、1957 年に設立され、愛川町三増に大規模な農場を擁する養鶏専門農協です。組合設立以来、一貫してニワトリの健康を第一に考えて丈夫なニワトリを育成し、『安全で安心なタマゴ』を消費者の皆様に供給しています。環境への取り組みとして再生包装資材の使用や鶏糞堆肥の製造にも力を入れています。

事務所・鶏舎に隣接した直売店「卵菓屋（らんかや）」では、愛川ブランド認定品である生みたて卵「kuretama（くれたま）」「お米たまご」はもちろん、新鮮タマゴをたっぷり使ったオリジナルスイーツ「卵菓屋プリン」「きいろいソフトクリーム（たまごソフト）」「シュークリーム」「ロールケーキ」「フィナンシェ」等々がお求めいただけます。さらに詳しい情報は、同農協のホームページをご覧ください。また YouTube の愛川町チャンネルやパル★ゆめチャンネルでも紹介されています。

神奈川中央養鶏農協のホームページ　http://chuoyokei.or.jp/

神奈川中央養鶏農協
QR コード

労協法に基づくワーカーズコープ連合会が発足、Co－ネット会員の日本労働者協同組合連合会(ワーカーズコープ)センター事業団は、「労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団」に法人名を変更

2023 年６月 24 日、日本労働者協同組合連合会が労協法に基づく連合会として東京で創立総会を開催し、関係者約 200 名が出席してレセプションが行われました。

Ｃｏ－ネット関係では、同連合会に加盟しているワーカーズコープ・センター事業団神奈川事業本部の齋藤本部長はじめ県内事業所の方々のほか、Ｃｏ－ネット共同代表の神奈川県生協連の當具会長、アドバイザーの富沢名誉教授らが出席しました。

ＪＣＡ関係者他多数の来賓に加え、海外からＩＣＡ(国際協同組合同盟)、CICOPA(国際産業・サービス協同組合機構)、韓国・社会投資支援財団の各代表からビデオメッセージが寄せられました。

連合会の機能は⑴代表機能、⑵コーディネート及びプラットフォーム機能、⑶支援機能、⑷開発機能となっています。一方、実際に事業を行う日本労働者協同組合連合会(ワーカーズコープ)センター事業団は、事業上の要請から 3 つの法人格を使用していましたが、今年４月１日にその一つ特定非営利活動法人ワーカーズコープを労協法による協同組合「労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団」に法人名・法人格を変更しました。今後、2024 年４月にみなし法人センター事業団、企業組合労協センター事業団扱いの事業を移管して、「労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団」に統合する予定とのことです。

ワーカーズコープ連合会
JAPAN WORKERS' COOPERATIVE UNION

日本労働者協同組合連合会の新しいロゴ

WORKERS'COOP

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団の新しいロゴ

★★協同組合間連携事例のご報告★★

ユーコープ×JAさがみ 「コープの産直えびなのトマト親子で収穫体験」開催

5月20日（土）ユーコープは、13組（大人20名、子ども17名）参加のもと、トマトガーデン海老名にてトマト収穫体験を開催しました。トマトの作り方やこだわり、花の受粉に使われる丸花蜂を見せてもらいながら、実際に収穫する注意点などを説明していただきました。また、生産者の厚意で、小松菜、ほうれん草を収穫し、参加者はトマトや野菜をたくさん抱えて大満足の様子で、「蜂の仕事とその理由を教えていただきありがとうございました。子供に良い体験、食育もでき大満足のイベントでした。」「トマトがたっくさんなっており、子どもたちが収穫を楽しんでいました。生産者の方々が一生懸命育てたトマトなので丁寧に収穫しようと伝えました。」などの声がありました。

トマトの収穫を体験

パルシステム神奈川×茶業センター 「味と香りの足柄茶　茶摘み体験！」開催

6月17日（土）パルシステム神奈川は、神奈川県農協茶業センターの協力で、「味と香りの足柄茶　茶摘み体験！」を山北町で開催し、7組（大人11名、小学生5名）が参加しました。同センター社員に摘み方を教わりながら茶摘みを体験。その後、足柄茶の歴史、茶農家の思いなどを聞いた他、おいしいお茶の淹れ方について4つのポイント、①お湯の量②茶葉の量③お湯の温度④浸出時間を学びました。

参加者から、「茶摘みや茶の淹れ方を学べて、じっくり味わえました。栽培現場を知ることで味わいも変わりました。」「とても楽しかったです！茶葉を摘む作業は無心になってできる感じがあり、もっとやりたかったです！」などの声がありました。

最初は教わりながら茶摘みを体験

～イベントセミナー等のご案内～

公益社団法人フードバンクかながわ　フードバンクに関する政策研究会
ニューヨークフードバンク視察～「フードバンクかながわ」次の展望を拓く～

フードバンクかながわは、フードバンクの先進アメリカの現状を学び、フードバンクかながわの次の展望を拓く機会とするため、中央労働金庫神奈川県本部 常務理事 柳井健一氏を講師に迎え、2023年度第1回政策研究会を開催します。ご興味ある方はフードバンクかながわまでお問い合わせください。

開催日時：2023年7月19日（火）16：00～17：30
場所：フードバンクかながわ事務所・倉庫（zoom参加可能）
詳細：チラシをご覧ください。

➢会員組織での困り事をはじめ、告知を希望する行事、提携事例等がありましたら下記までご連絡ください。

＜担当事務局連絡先＞
ＪＡ神奈川県中央会 総務企画部(担当：古谷・杉本)TEL.045-680-3001 sou-ki@chu.kn-ja.or.jp
神奈川県生活協同組合連合会(担当：相田・栗城)TEL.045-473-1031 Yuji.Aida@ucoop.or.jp、Sadakazu.Kuriki@ucoop.or.jp

公益社団法人
フードバンクかながわ

フードバンクに関する 2023
第1回 政策研究会

ＮＹ（ニューヨーク）フードバンク視察

～「フードバンクかながわ」次の展望を拓く～

講師 中央労働金庫神奈川県本部 常務理事 **柳井 健一**さん

2023年5月初、県内の労働団体はコロナ後のアメリカのフードバンク（以下FB）2団体を視察された。
1つは企業からの支援を受けて地域で活動する小規模なFB。農園で栽培した野菜を提供。スーパーで移民に対して貧困の状況に応じたポイントを付与し、好きなものを購入できる仕組みを作っている。
もう1つは全米最大のFBで、20年前に設立した当初は地域の小さなFBとして始まったが銀行からの寄付を受けて大きな組織となった。30代の若いスタッフが多く、大規模な倉庫、トレーラー等を持ち、食品管理をデータ化、IT化が進んでいる。とのことだった。

講師に柳井健一さんを迎え、フードバンクの先進アメリカの現状を学び、フードバンクかながわの次の展望を拓く機会としたい。

研究会メンバー
かながわ生き活き市民基金
神奈川県生活協同組合連合会
神奈川県労働者福祉協議会
こくみん共済 coop 神奈川
ＪＡ神奈川県中央会
生活クラブ生活協同組合
中央労働金庫神奈川県本部
生活協同組合パルシステム神奈川
生活協同組合ユーコープ
横浜ＹＭＣＡ
連合神奈川 （50音順）

団体推薦のオブザーバー参加募集中

- **日時** 2023年 7月 19日(火)
  16:00～ 17:30
- **場所** フードバンクかながわ事務所・倉庫
- Zoom参加可能 事前申し込みの方にURLをお送りします。
- **主催：(公社)フードバンクかながわ**

横浜市金沢区富岡2-4-45
info@fb-kanagawa.com
045-349-5803